

# 別居被扶養者への仕送り額報告書

令和 年 月 日 申請

下記のとおり、別居の扶養申請対象者に対して、私が主たる生活費を負担し仕送りすることを報告します。

記号	番号	被保険者名			
		⑩			
扶養申請対象者		氏名	続柄	生年月日	
				S H R	年 月 日
				S H R	年 月 日
				S H R	年 月 日
	本年仕送り額	備考		翌年仕送り額	備考
1月			1月		
2月			2月		
3月			3月		
4月			4月		
5月			5月		
6月			6月		
7月			7月		
8月			8月		
9月			9月		
10月			10月		
11月			11月		
12月			12月		
合計			合計		

仕送り方法（該当に○）・・・ア 振込（銀行・郵便局）、イ 現金書留、ウ その他（ ）  
 （振込等を証明するコピー、直近3か月分を必ず添付ください。※手渡し不可）

（記入上の注意）

- 今回、扶養申請するにあたっての仕送りの現況と、今後1年間の仕送り予定額を記入してください。
- 各月の仕送り金額と年間合計額も記入してください。
- 扶養申請対象者の収入額にかかわらず、仕送り下限基準額以上を送金していなければ被扶養者としては認められません。

●仕送り下限基準額（人事院の標準生計費資料に基づく）  
 扶養申請対象者 お一人にたいして 5万円/月（60万円/年）  
 扶養申請対象者 お二人にたいして 7.5万円/月（90万円/年）

- 実際の仕送り額が本報告どおりされなかったり、仕送り下限基準額を満たさなかったときは、遡って被扶養者の認定自体が取り消されることとなりますのでご注意ください。